平成 30 年度「塩の道を歩く」実施報告

中畑　清貴

本年度の「塩の道を歩く」は友の会単独事業として、サンテインおたりに宿泊して 6 月 30 日、7 月 1 日にわたり、小谷塩の道の会の澤渡さんと伊与田さんにガイドをお願いして総勢 18 名で地蔵峠、大網峠の峠越えコースを歩きました。

1 日目は午前８時にサンテインおたりの駐車場に集合して同館のマイクロバスで深原まで送っていただき、８時半から歩き始めました。途中番小屋跡、貝の平（けえのひら)、地団駄、観音菱と、いわれを聞きながら小休止をとって登り、11 時時 10 分地蔵峠（1,040m）に到着、眼下に流れる姫川が明治４４年の稗田山の大崩落でせき止められたことなど聞きながら休憩をとり、更に登って 12 時 20 分、三坂峠（1,230m）に到着して昼食をとった後、ザックを置いて跡杉山（1,285m）をピストンしましたがあいにくの通り雨で日本海は望めませんでした。13 時 30 分峠から一気に下り、金を採掘しているという地蔵鉱山の脇を通って長者平で 15 時 30 分迎えのバスに乗りました。宿への帰路、運転手さんの計らいで回り道をして、幸田文　歳月茫々碑を経て林道終点の金谷橋までいって稗田山の斜面崩落の様を間近で見ることができました。そんなわけで宿に戻ったのが 16 時 30 分、入浴後夕食をとって 20 時から蛍観察会 21 時 30 分就寝となりました。

2 日目は 7 時の朝食後バスで大網諏訪神社まで送っていただき、旅の無事を祈願して 8 時 20 分から歩き始め、芝原の六地蔵、下清水茶屋跡、横川の吊橋まで約 100m 下って牛の水飲み場、菊の花地蔵、と登り返して途中、ツチアケビ、オニノヤガラと珍しい蘭に出会いながら屋敷跡で昼食をとり、13 時過ぎに大網峠（８４０ｍ）到着、記念写真をとって角間池、白池と下り、七年に一度薙ぎ鎌神事が行われるという境の宮へと向かうバリエーションルートを下って 15 時 20 分、戸土の分校跡で迎えのバスに乗って宿に戻り、入浴後終わりの会をして無事解散となりました

大網峠にて